

学習活動

「学習発表会を成功させよう」

ステージ発表内容:日頃の学習の様子を寸劇で発表する。他学部ナレーションも担当。

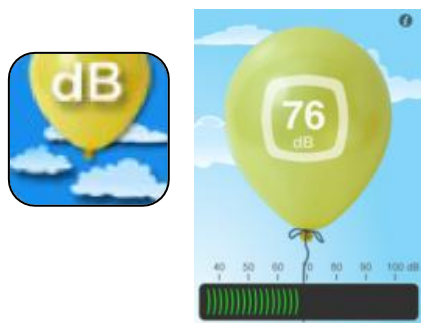
劇練習、大道具・小道具作り、ナレーション練習、作品展示等

活用の目的

- アプリケーションを利用して、ステージやナレーションで大きな声でせりふが話せるように練習する。
- アプリケーションを利用して自分の声を録音・再生することで、改善点が見える。

活用の実際と工夫

- iPad のアプリケーション「NoiseLevel」によって声の大きさを視覚的に捉え、自分の声の大きさを意識できるようにする。
- iPad のアプリケーション「VoiceRecorderHD」でせりふやナレーションの良い点や改善点に気づき、改善点は自分で直すことができるようにする。



アプリケーション「NoiseLevel」

音の大きさによって風船が膨らむ。大きな音でメーターが伸び、風船が膨らみ、色が変わる。100dbで破裂する。



アプリケーション「VoiceRecorderHD」

一般的なボイスレコーダー。繰り返し聞くことで発音や速さ、息継ぎのタイミングを学習できる。

活用の効果 ○効果 ●課題

- 「NoiseLevel」を使っでの声の大きさの学習では、風船を割ろうと大きな声を出す様子が見られた。
(あらかじめ発声練習を行った上で実施した。)
- 「音量を視覚でとらえる」という教材は画期的で、大きな声を出した結果が「風船が割れる」という映像につながるため、生徒の意欲を引き出せる教材であった。
- 「VoiceRecorderHD」では、恥ずかしがりながらも自分のナレーションを聞き、良かった点、悪かった点を見つけることができた。台本に気をつける点を書き込み、本番は改善したナレーションを披露できた。
- ボイスレコーダーは普段授業で使うことはめったにないが、使用感としては便利で**教科別の指導や自立活動にも役立つそうである**。また、教師の指示の記録にも使えそうである。